

1人1台端末の活用による実践事例

学校名	岡山東支援学校	実践者名	井上由香・宗定幸枝・平井康智
実践場面 (教科)	個別課題（国語）		
単元・題材名	個別課題		
学習目標・ねらい	・読み書きできる平仮名を増やす。 ・教師の見本を見て、平仮名50音のキーボードから正しい文字を探し、同じ言葉や文章を入力することができる。 ・タブレット端末の扱いに慣れ、文字を入力することができる。		
対象の児童生徒の実態	・知的障害部門小学部6年生。 ・平仮名の読み書きを学習している。平仮名のマッチングをすることができる。読むことのできる文字が増えてきている。		
活用の概要（使用アプリ名を含む） ※写真も掲載する			
○Google Classroomで、教師と文章（平仮名）でのやりとりをする。 ・学級のクラスルーム内で、対象児にのみメッセージを送信しておく。 ・昨日した遊びや、食べたものなど、簡単な質問を教師が書き込んでおく。 ・その質問に対して、コメント欄に返答を入力する。 ☆「あそび」や「おやつ」などをキーワードにして質問の返答を考えることができるように、対象児がよく使うものや好きなものを、平仮名で紙に書き出したものをいつでも使うことができるように手元に持っている。			
クラスのコメント 9月28日 うぬらにめとけからくあわほるあ 井上由香 9月28日 おやつは なに？ 9月28日 そさそさそあわあひすむむす、けきみつずすさしりつ 9月28日 ぬをうにけにすりひくくふりく 9月28日 くたひゆー 井上由香 10月19日 すきな おやつは なに？ 10月19日 くつきー 井上由香 10月25日 きのうの ばんごはんは？ 10月25日 ごはん 10月25日 さかな やさい あそびはん ばんごはん ごはん じゃーす ばん おかし おちや じゃーく たまご やさい ばん さかな めん やさい じゃーく ぶるーつ ぱすた にく			
○Google Chatで、教師と文章（平仮名）でのやりとりをする。 ・現担任と前担任のGoogle Chatのトークルームで、対象児は現担任のiPadを使用して、前担任とやりとりをしている。 ・質問の理解が不十分なため、教師が必要に応じて情報を補足したり、対象児の分かる言葉で返答を一緒に考えたりする。また、一緒に考えた言葉や文章を教師がホワイトボードに書き出すことで、その見本を見ながら、iPadの平仮名50音のキーボードから同じ文字を探して入力する。			
平井康智 10月3日 16:47 さんへ こんにちは。 いつもおかりのしごとをがんばってすこいね。 またあったときに会いまうてね。 宗定幸枝 10月4日 10:16 😊 宗定幸枝 10月4日 10:16 おはようございます。 平井康智 10月5日 8:29 きょうもげんきですか？ 宗定幸枝 10月5日 13:23 はい 宗定幸枝 10月19日 16:47 おへんじ、くたひゆー まうてるよ。 平井康智 10月19日 16:48 おはようございます。 おへんじ、まうてるよ。 宗定幸枝 10月19日 16:48 おはようございます。 おへんじ、まうてるよ。 平井康智 10月19日 16:48 おはようございます。 おへんじ、まうてるよ。 宗定幸枝 10月19日 16:48 おはようございます。 おへんじ、まうてるよ。			
活用のポイント・改善策等			
・タブレット端末を家庭に持ち帰った際にも、家庭で言葉や文章を考える課題に取り組むことができるよう、普段から学校でGoogle ClassroomやGoogle Chatを活用した実践を積み重ねておくことが重要であるとする。			
・他の児童も同様に実践を積み重ね、家庭でタブレット端末を使用する際に、Google Classroom等を活用して適切に教師とやりとりできるようにすることを目指していきたい。			